北央化製事業協同組合さま
サステナビリティ経営への取組み

北洋銀行　公金地域創生部

北海道共創パートナーズ　ソーシャルインパクト事業部

北央化製事業協同組合さまが設定した目標・KPIについてモニタリングを実施しております。
社会面では、従業員の労働安全や人材育成につながる取組みを実施されており、働きがいの創出に取り組まれております。
また、環境面においては、太陽光パネルの設置による、再生可能エネルギーの利用促進や産業廃棄物残渣の受け入れを強化するなど、地域の環境課題の解決に資する取組みをされており、これらの取り組みにより、今後もさらなるポジティブインパクトの創出が期待されます。

経営理念

1.高邁な理想をかかげ、その実現への不退転の意思をもって行動する
2. 人に学び、人を育て、人によって育てられる
3. 時代の要請に応えて時代をつくる
4. 品質･サービスを通して、縁を拡げ、縁あるすべての人々に対する責任を果たす



SDGs達成とインパクトへの取組み

社会：やりがいと安心感がある職場環境づくり

■ 2025年度は、工場稼働前の機械メンテナンスの継続や、6 ヶ月毎の大規模定期点検を実施するなど、従業員の労働安全に対する取り組みを行うことで、労働災害の発生を防止しました。
■ また、従業員のスキルアップについては、代表理事が講師となり、作業内容の互換性向上を目的とした研修を実施し、従業員のマルチタスク化に取り組みました。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

	取組内容	ＫＰＩ	目標		実績
			達成時期	数値等	
●	物価に合わせた賃上げを実施する	消費者物価指数を上回る賃上げの実施	2034年まで	継続	【2025年度】未実施
●	稼働前の機械メンテナンス及び6ヶ月毎の大規模定期点検の徹底により労災事故ゼロを継続する	労災事故ゼロを維持	毎年	0件	【2025年度】0件
●	やりがいのある職場環境づくりのために、定期的に「効率的な工場稼働」等のスキルアップに資する研修を実施する	スキルアップに資する研修を実施	毎年	6ヶ月に1回以上	【2025年度】1回実施

環境：サーキュラーエコノミー形成への貢献 脱炭素経営の推進

■ 2025年度は、工場の稼働率をアップさせ、動物性残渣処理量の増加に努めました。
■ また、太陽光発電設備を設置しており、消費電力に占める再生可能エネルギーの利用率を増加させております。

【インパクトに基づく取組内容とKPI】

	取組内容	ＫＰＩ	目標		実績
			達成時期	数値等	
●	食肉加工業における資源循環に貢献するべく、工場排水設備の更新による処理能力の向上により、飼料の原料となる動物性残渣処理量を増加させる	動物性残渣処理量の増加	2027年度	月間平均約600トン	【2025年度】月間平均　411トン
●	GHG排出量を可視化すると共に、再生可能エネルギー利用促進をはじめとする削減施策を実行する	GHG排出量の可視化	2025年度	可視化	【2025年度】未実施
		再生可能エネルギー由来の電力使用量の増加	2030年度	10%以上	【2025年度】24%増加